

「糖尿病と災害医療」

講師 糖尿病内分泌代謝内科 真山 大輔^{医師}



【講演内容】

日本は災害大国といわれているほど、災害が集中している国です。災害時に備え糖尿病患者さんが準備すべきこと、被災時の対処方法についてお話ししました。

糖尿病患者さんは、血糖が不安定になりやすい、インスリンや血糖自己測定器等の機材が必要である、感染症やケガに弱く、高血糖緊急症をおこしやすくなる、災害時に多い血栓症（脳梗塞、心筋梗塞など）にかかりやすい、といった理由から災害の影響を受けやすいです。

災害時に備え、内服薬やインスリン、病気に関わる情報（[糖尿病連携手帳](#)や災害用糖尿病カード）の準備をしておくことが大切です。

また当院では糖尿病患者会「[ユーカリ友の会](#)」発足しております。

